

| | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|---------|------------------------------|-----------------|------------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 介護概論ⅡA(介) (DA217) | | | 担当教員 | 久田 貴幸 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 2年・前期 | 必修・選択 | 選択 (介護必修) |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ ラーニング の類型 |
| <p>介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなどを通して、介護福祉の専門職としての能力と制度を養う学習とする。</p> <p>多職種協働による介護を実践するために、保健・医療・福祉に関する他の職種の専門性や役割と機能を理解する。</p> <p>この演習を通して、専門的知識・技術を修得し、それらを様々な課題に適用して解決を図ることができることをねらいとする。</p> | | | | | | | ①⑥⑨⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養うことができる。 | | | | 定期試験 単元別小テスト 課題レポート | 40% 5% 5% | |
| 情報収集、分析力 | 尊厳を支える介護が理解でき、要支援・要介護者に必要な介護サービスの種類や利用要件、利用するための手順(提供までの過程)を考え、判断することができる。 | | | | 単元別小テスト グループワーク | 10% 10% | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | グループで課題に取り組む際、自分の立場で何が必要かを考え説明することができる。 | | | | プレゼンテーション | 10% | |
| 多様性理解力 | 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養うことができる。 | | | | 課題レポート 単元別小テスト グループワーク | 10% 5% 5% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>「定期試験」(40%)は、60点以上を合格水準とし筆記試験(持ち込み不可)を行う。「単元別小テスト」(20%)は、5回目・8回目・12回目に実施・回収し、次回の授業で説明する。「課題レポート」は(15%)で、授業内での代表的な意見をレポート化し、提出後フィードバックにて学生と共有する。</p> <p>「グループワーク」(15%)は、自分の意見をまとめ、PPを作成しグループで「プレゼンテーション」(10%)を行う。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>医療現場で介護支援専門員等の資格や経験をもつ教員が担当し、現場実践を活かした学修を行う。</p> <p>「介護概論ⅠA・1B」を踏まえ、人や生活の多様性について理解を深め、事例を取り入れながら高齢者や障害のある人の理解、その生活について学んでいく。また、介護サービスの概要については、介護保険制度を中心に学んでいく。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：最新・介護福祉士養成講座4 『介護の基本Ⅱ』 中央法規 発行者：荘村明彦</p> <p>参考書：『国民の福祉と介護の動向』 厚生統計協会 (近年の統計動向の確認時、本書を活用する)</p> <p>指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック2018上 中央法規</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>本授業は、要介護者について学ぶものですが、介護を必要としていなかった頃の利用者の状況や状態を考えるようにしてください。そして、在宅で行う介護と施設で行う介護の違いや共通視点について常に考えてください。</p> <p>利用者への適切なサービスを提供するためには、多くの知識を得ることが大切です。高齢者や障害のある人をめぐる諸問題についての学習として、図書館等を利用し、新聞や雑誌を読むよう心がけてください。</p> <p>注意点：講義中の私語、携帯電話の使用は禁止とし他者に迷惑をかけること。また欠席の場合は事前連絡を行うこと。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|----------------|---|---|
| 1 | 介護保険のしくみ | 介護保険制度のしくみを復習する。 | 予習：介護保険制度のしくみを整理する 復習：介護保険の制度を整理し理解する |
| 2 | 協働する多職種の役割と機能① | 介護の実践における多職種連携の意義と目的について理解する。 | 予習：多職種連携と意義について調べる 復習：多職種連携を整理し理解する |
| 3 | 協働する多職種の役割と機能② | 医師、看護師などの医療職の協働職種の理解と連携のあり方について学ぶ。 | 予習：医師、看護師について調べる 復習：協働職種を整理し整理する |
| 4 | 協働する多職種の役割と機能③ | 栄養士やホームヘルパーなどの協働職種の理解と連携のあり方について学ぶ。 | 予習：栄養士、ホームヘルパーについて調べる 復習：小テスト内容を整理し理解する |
| 5 | 協働する多職種の役割と機能④ | 利用者を取り巻く多職種連携の実際について学ぶ。 (単元別小テスト) | 予習：担当国会議について調べる 復習：担当国会議の実際についての気付きをレポートする |
| 6 | 協働する多職種の役割と機能⑤ | 多職種連携の意義と目的の演習。 | 予習：担当国会議の役割について調べる 復習：担当国会議での介護支援専門員の役割を整理する |
| 7 | 協働する多職種の役割と機能⑥ | 多職種連携のあり方の演習。 | 予習：演習問題を行ってくる 復習：演習を通して整理する |
| 8 | 地域連携① | 地域連携の意義と目的について理解する。 (単元別小テスト) | 予習：地域連携について調べる 復習：地域連携の意義を整理する |
| 9 | 地域連携② | 地域連携の実例を通して学ぶ。 | 予習：訪問看護師の役割について調べる 復習：訪問看護師の役割をレポートする |
| 10 | 地域連携③ | 地域連携にかかわる機関の役割と機能を理解する。 | 予習：社会福祉士の役割と連携について調べる 復習：社会福祉士の役割と機能を整理する |
| 11 | 地域連携④ | 利用者を取り巻く地域連携の実際を、事例を通して学ぶ。 | 予習：地域連携の事例を探してみる 復習：小テスト勉強をする |
| 12 | 地域連携⑤ | 介護福祉士がかかわる地域連携についての基本を学ぶ。(単元別小テスト) | 予習：介護福祉士の役割と連携について調べる 復習：介護福祉士の役割を整理する |
| 13 | 地域連携⑥ | 地域連携のレベル、地域連携の実際の演習。 (プレゼンテーションの作成) | 予習：演習問題を行う 復習：地域連携の実際の演習を整理する |
| 14 | 地域連携⑦ | 事例でみる介護福祉士の活躍の場の、演習をグループワークで行いプレゼンテーションを行う。 | 予習：演習問題を行う 復習：演習問題を整理する |
| 15 | まとめ | これまで学んできた多職種の役割、地域連携についてのまとめ。 試験問題を説明する。 | 復習：教科書やノートを確認し定期試験に備える |
| 16 | 定期試験 | 筆記試験を行う。 | 筆記試験の準備 |